

# 博物館だより

No.60

平成23年4月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行  
 福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13  
 TEL 0930-33-4666  
 FAX 0930-33-4667

## 博物館友の会 会員募集!

みやこ町歴史民俗博物館友の会は「故郷を楽しく学ぶ」をモットーに講演会やバスハイク、史跡巡りなどさまざまな行事を行っています。意欲のある方であればどなたでもお気軽に参加いただけます。ぜひご入会ください。

### ♪入会の方法

博物館の窓口で会費を納めてください。

### ♪年会費

個人会員 3000円

家族会員 1名2000円

### ♪お問い合わせ先

みやこ町歴史民俗博物館内  
 友の会事務局  
 TEL 0930-33-4666

### 4月期歴史講座のご案内

#### 【漢詩文講座】

4月2日(土) 9時30分～

#### 【古文書講座】

4月9日(土) 10時00分～

#### 【古典かな講座】

4月16日(土) 9時30分～

#### 【金曜古文書講座】

4月22日(金) 10時00分～

#### 【みやこ学講座】

4月23日(土) 10時00分～

### 歴史学習DVD

みやこの歴史発見伝!

# みやこの先人

現在のみやこ町出身で、後世に名をのこした先人を顕彰するDVD「みやこの歴史発見伝」みやこの先人」が完成しました。

ナビゲーター役の女性が先人ゆかりの土地や人を訪ねながら、その人生と業績を紹介する内容で、10名の先人を取りあげて、1名につき1本、計10本の映像ソフトにまとめました。先人を切り口にわが町を見ると、驚くような発見がいっぱいです。郷土を愛するには先ず郷土を知ることから。ぜひ、「みやこの先人」をお手元に!



### みやこの歴史発見伝 / みやこの先人

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 岩垂 邦彦 | 6. 中村 春堂  |
| 2. 小宮 豊隆 | 7. 荒山 嘉樹  |
| 3. 堺 利彦  | 8. 吉田 学軒  |
| 4. 下枝 夏村 | 9. 吉田 健作  |
| 5. 鶴田 知也 | 10. 吉原 古城 |

福岡県 みやこ町

### 「みやこの先人」ジャケット



### ■DVD収録の先人10名

- 岩垂邦彦(NEC創業者)
  - 小宮豊隆(独文学者・漱石門下)
  - 堺利彦(日本社会主義運動の父)
  - 下枝董村(異才の書家)
  - 鶴田知也(芥川賞作家)
  - 中村春堂(かな書道の名手)
  - 葉山嘉樹(プロレタリア作家)
  - 吉田学軒(元号「昭和」創案者)
  - 吉田健作(近代製麻業の父)
  - 吉原古城(書家・漢学者)
- 販売価格 1枚1000円  
 ■販売場所 当館カウンター

### 《古文書解読コーナー》

聖治

① 〈ヒント〉警戒し、まもる

胡乳

② 〈ヒント〉怪しく、うたがわしいこと

極り

③ 〈ヒント〉気ままにふるまう

尻後

④ 〈ヒント〉原野〇〇

り物

⑤ 〈ヒント〉身持ち。品行

◎答え

(反対向きに見てください)

- ① 聖治  
 ② 胡乳  
 ③ 極り  
 ④ 尻後  
 ⑤ り物

# みやこの歴史発見伝 46

## 発掘レポート最前線

### 「些見中園遺跡」

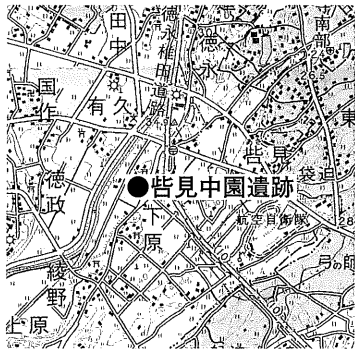
— 数百年の時を超えての身近な地域再発見! —

#### 些見中園遺跡について

町内では平成26年の供用開始を目指す東九州自動車道の建設工事がピークを迎えています。これに先立つ埋蔵文化財Ⅱ遺跡の発掘調査も盛んで、ルート上となる豊津地区のあちこちで緊急発掘が行われています。

些見中園遺跡（些見区所在）もそうした遺跡の一つで、調査の結果、中世の墳墓や廟堂（開祖を祀るお堂）址らしきものが見つかり「祈りの空間」遺跡とも言える内容の遺跡であることがわかってきました。

3月末に調査が終了したばかりのこの遺跡の概要について簡単に紹介してみよう。



▲些見中園遺跡の所在地 (1/50,000)

#### 些見中園遺跡をめぐる環境

遺跡は祓川右岸の標高30mほどの微丘陵上にあつて、すぐそばを椎田道路や県道243号線といった幹線道路が走ります。

また遺跡を挟んで北側には産土神三社神社、南側に菩提寺・長明院があつて、地区の大事な祈りの拠点となっておりますが、遺跡内にはさらに貴船（水神）様・観音様（海潮山妙音寺）とよばれる隣組単位で祀る小規模かつ身近な神仏の鎮座地があつて、これが遺跡の性格づけに大きく影響しているようです。

調査前の遺跡はこれらを含んだ水田や宅地で、町内でごく普通にみられる田園風景でした。剥ぎ取つて地下に残された過去の痕跡をのぞいてみると、大発見!とは言えないけれど、地域に伝えられてきた大事な歴史の片鱗が姿を現しました。

#### 些見中園遺跡からの発見

① 廟堂址か? 基壇状地形確認  
遺跡内に江戸時代以降墓地として利用されてきた小区画が



▲基壇状地形と周囲の溝。後に墓地となる

ありましたが、そこを掘り下げると約7m四方の土壇状の地形が現れました。周囲には幅約3m・深さ15cm前後の浅い溝がめぐり土師器（かわらけ）や陶磁器片とともに瓦片が数十点出土しました。古いものは鎌倉時代頃のものがあり、どうやら建物跡らしいのですが、地元には観音様（堂）が元々このあたりにあつたとの伝承があり、それが裏付けられたような形です。

なお観音様は中世豊前の支配者・宇都宮氏ゆかりのものとして、宇都宮氏の氏神・木井神社の九日祭では、稲童浜へ潮汲みにゆく神使が必ず参詣供花する慣わしで、祭が始まった鎌倉時代以降続く伝統とされています。

#### ② 特殊な地下室「地下式坑」

遺跡の中央付近から奥行約5m・幅約2.5m・深さ1.2m前後の大きな穴が幾つか見つかりました。

平面形に特徴があり、上から見るとちょうど卓球のラケットのような形をしています。こうした穴は地下式坑とよばれて中世に流行した地下室なのですが、遺跡では天井がなくなつた状態で見つかりました。

地下式坑の利用法は謎が多く、大きく①貯蔵庫と②墓穴の二説あるのですが、利用法の確定は出土遺物や状況証拠によるしかありません。この遺跡では墓穴（遺体の仮安置＝骨化空間）として利用したと考えられますが、地下式坑は禅宗や鎌倉武士の文化・葬法が影響しているとの説があり注目される遺構です。



▲上から見た「地下式坑」。罌穴部と地下室からなる

#### ③ 貴船様、百年ぶり?の大掃除

遺跡の西側水路脇に「貴船（水神）様」と呼ばれる一角があり、調査前まで石の祠が鎮座していました。移転後の敷地は沼地のような泥湿地でしたが、これを発掘すると見事な石組が現



▲発掘後の貴船様跡地。見事な石組が広がる

れ、かつての貴船様の鎮座地の姿が明らかになりました。貴船様の地は写真のように約5m四方の石組中央に約3m四方の石囲いの中島が築かれるものです。移転した祠に大正十二年（一九二二）に祠再建の旨が刻まれますが、江戸後期の神名帳（神社台帳）に記載があることから、鎮座の歴史はそれ以前に遡るものとみられます。

おそらく小さな池だったものを、ある時期にこの石組に改変したようですが、自前とみられるこの整備をやり遂げた貴船講中の人々の熱意には頭が下がります。

このように、いわゆる大発見とは無縁でも、地域が大切に伝えてきたものを明らかにできたことでは、この遺跡の持つ文化遺産としての価値は「本物」ではないでしょうか。

（木村達美）